

令和4年度厚生労働科学研究補助金（障害者政策総合研究事業）

児童・思春期精神疾患の診療実態把握と連携推進のための研究

分担研究報告書

分担研究課題名：令和4年度のインタビュー調査等

研究分担者 西牧 謙吾 国立障害者リハビリテーションセンター

研究要旨

令和4年度の研究テーマは、今までの基幹病院カルテ調査、全国施設アンケート調査から把握することができなかつた、人数や頻度には表れにくい実態や課題については把握することを目的に、研究分担者が、診療の最前線でご活躍の専門家の方から個別のインタビュー調査を行った。

A. 研究目的

今までの基幹病院カルテ調査、全国施設アンケート調査から把握することができなかつた、人数や頻度には表れにくい実態や課題については把握する。

B. 研究方法

研究分担者、研究事務局で、インタビュー調査を実施する学会をリストアップし、研究分担者で手分け、インタビューを行い、逐語でテープ起こしをした内容を、インタビュー実施マニュアルの観点で整理を行う。

（倫理面への配慮）

インタビューで、個人情報、都市名、病院名が特定されないように配慮する。

C. 研究結果

西牧は、二つの学会から、4人の候補者を推薦いただき、インタビュー調査を実施した。質問項目は、①子どもの心の診療の中で、

とくに工夫をして熱心に取り組んでいる疾患や状態について、②子どもの心の診療の中で、とくに工夫をして熱心に取り組んでいる関係機関との連携について、③子どもの心の診療の中で、とくに困難を感じている疾患や状態について、④子どもの心の診療の中で、とくに困難を感じている関係機関との連携について、⑤子どもの心の診療の中で、未解決と感じている課題について（疾患、連携、医療制度など）、⑥その他、子どもの心の診療に関する自由意見をお聞きした。その結果は、令和4年度 児童思春期精神疾患の診療実態把握と連携推進意見交換会で、個人情報に配慮し公表した。

D. 考察

意見交換会には、心理関係学会・職能団体、精神科医関連学会、児童精神科医関連学会、小児科関連学会15団体が参加した。児童・思春期精神疾患の関連では、このような大規

模かつ横断的な意見交換会は初めての試みであった。令和5年度の子どもの心の診療に関する情報が共有された。子どもの心の診療や支援に関連した多くの研修がなされていることが確認できたものの、学会員、専門職種に向けたものが多く、研修によっては、参加費用の問題もあり、いくつかの課題が確認できた。

E. 結論

今までの基幹病院カルテ調査、全国施設アンケート調査から把握することができなかった実態や課題について、6つの観点から把握することが出来た。子どもの心診療に関する学会等では、多くの研修が企画されているが、より多くの人参加を求めるには、解決すべき課題が多かった。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Makoto Wada*, Katsuya Hayashi, Kai Seino, Naomi Ishii, Taemi Nawa and Kengo Nishimaki, Qualitative and quantitative analysis of self-reported sensory issues in individuals with neurodevelopmental disorders, *Frontiers in Psychiatry*. 10. 3389/fpsy. 2023. 1077542.

2. 学会発表

奥野 正景、新井 卓、大嶋 正浩、栗田 篤

志、小平 雅基、田中 哲、中島 洋子、成重 竜一郎、西牧 謙吾、松田 文雄、山崎 透、村嶋 隼人、医療経済に関する委員会による子どもの心の診療実態アンケート調査の報告、第63回日本児童青年精神医学会総会

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし